

# コロナ禍を支部協一丸となり乗り切ろう

## 参議院選挙に勝利し、安心して暮らせる社会を取り戻そう

退  
県協  
ニュース

第38号

NTT労働組合退職者の会  
福島県支部協議会  
福島市山下町5-10 TEL.024-534-1144

発行責任者●伏見 吉弘  
印刷●陽光社印刷株式会社

### 年頭挨拶



NTT労働組合退職者の会  
福島県支部協議会  
会長 伏見 吉弘

新年あけましておめでとうございませう。

昨年の第二十三回総会において新しく会長に就任しました伏見吉弘です。併せて、新事務局長にこれまで事務局次長として共済を担当していただきました「菅野一喜さん」が就任しました。今年一年皆様のご協力をよろしくお願ひします。

昨年はコロナ感染拡大、一一・一三福島県沖地震と過去に例を見ない大変な状況の中、多くの会員の皆様と各地区協のご協力により、どうにか乗り切ることができました。新年を迎えこの成果を福島県支部協議会の大きな財産と

**油断大敵**  
コロナに負けるな！

していかなければならないと気持ちを新たにしたいところです。

今年も、「オミクロン株」により厳しい一年になるのではないかと危惧しているところです。

一昨年の台風十九号、昨年の福島県沖地震と二年続きの自然災害に見舞われました。「備えあれば憂いなし」と言われます。自然災害共済加入と携帯電話の把握、第二連絡先(別居の親族)の把握を今年度の最重要課題として取り組むこととします。

最後に、昨年の衆議院選挙において県内では一定の成果を上げることができましたが、全国的には立憲民主党の後退となつてしまいました。

今年の参議院選挙では、何とんでも立憲民主党の党勢拡大を凶らなければなりません。組織内議員「石橋みちひろ」を推薦し、全力で戦い抜くことを全体で確認し合いたいと思います。

今年も、全員一丸となり各種課題に向け取り組んでいきたいと思います。



立憲民主党 参議院議員  
(NTT 労組組織内)  
**石橋 みちひろ**

NTT 労働組合退職者の会・福島県支部協の皆さま、2022年、新年明けましておめでとうございませう。旧年中も、コロナ禍で厳しい状況が続いた中で、引き続き私の国政活動に対し、諸先輩方より大変温かいご支援をいただき、本当にありがとうございました。今年、7月に第26回参議院議員選挙が行われます。私にとって三期目をめざす重要な決戦の年であり、先輩方のご期待にお応えするためにも、全力で頑張つて必ず結果を出す決意で、新しい年に臨んで参ります。

昨年10月に行われた衆議院議員選挙で、立憲民主党は改選前議席を大きく減らす敗北を喫しましたが、私が今、最も憂慮しているのは、衆院選の結果、いわゆる改憲勢力が4分の3もの議席を得てしまったことです。仮に参院選で同様の結果となれば、自民党が目論む緊急事態条項の創設や9条の改憲までやられてしまう懸念があり、それを防ぐためにも、何としても参院選での勝利を目指さなければなりません。

今、政治がやるべきは、改憲ではなく、憲法が保障する国民の権利を確保することであり、新自由主義や新型コロナウイルス感染症によって深刻な影響を受けてきた労働者や生活者の雇用や暮らしの安全・安心を再建して、格差や貧困をなくしていくことです。私も、一貫してめざしてきた「つながって、ささえあう社会」の具現化をめざし、これまで以上に努力して参ります。先輩方の温かいご支援・ご指導、とりわけ今夏の決戦に向けての応援をいただきますことをお願い申し上げます。年初にあたってのご挨拶とさせていただきます。

本年もよろしくお願ひします

謹んで新春のお慶びを申し上げます。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

会員の皆さまには二年にわたる「新型コロナウイルス」との戦いお疲れのことと存じます。まだ先は不透明ですが健康に留意して元気に過ごされたいことを祈念いたします。

十月に施行された衆議院選挙へのご支援に御礼を申し上げます。

今年も政治決戦の年です。七月は参議院選挙があります。組織内議員「石橋みちひろ」三期目に挑戦です。必勝を目指して頑張りましょう。

結びになりますが、退職者の会の皆さまのご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

福島県議会議員  
**古市 三久**  
NTT 労組組織内  
(立憲民主党副代表)

新年明けましておめでとうございませう。

昨年の衆議院議員選挙におきましては、皆様のご支援に心より感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染症に対しては、経済支援対策や医療体制の確立など、抜本的対策の拡充に向けて今後とも取り組んで参る所存でありますので、本年も皆様のご指導ご支援をどうかよろしくお願ひいたします。

七月には参議院選挙が実施されます。立憲民主党躍進のため、特段のお力添いをお願い申し上げます。

本年が皆様にとってより良い年となりますように心からご祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

福島県議会議員  
**高橋 秀樹**  
NTT 労組組織内  
(立憲民主党幹事長)



各地区協代議員と総会を進める県支部協

二、続いて議事に入り、伏見事務局長から昨年度の総括及び新年度の活動方針等について、提案説明がありました。

1. 退職者の会の会員数は、昨年度は二十名の減員であ

1. 事務局次長を二名体制に増強して取り組んできた。
2. Web方式による地区協代表者会議や県協ニュースにより、情報の共有化を図った。
3. 二月の地震による被害者への補償事務は、各地区協と連絡を密にして対応した結果、滞りなく完了することが出来た。
4. 衆院選に勝利するため、必ず投票するよう呼び掛ける。

## 会員の安全・健康第一を優先に 県支部協一体となつて取組みを進めよう

十月二十五日 第二十三回福島県支部協定期総会開く

総会開催冒頭、物故者に対して黙とうを捧げました。

一、議長に廣田幸夫会長代行を選出し、次の通り挨拶がありました。

1. 事務局次長を二名体制に増強して取り組んできた。
2. Web方式による地区協代表者会議や県協ニュースにより、情報の共有化を図った。
3. 二月の地震による被害者への補償事務は、各地区協と連絡を密にして対応した結果、滞りなく完了することが出来た。
4. 衆院選に勝利するため、必ず投票するよう呼び掛ける。

### ■ 各地区協の総会開催状況 ■

地区協	開催月日	開催形態・会場
福島	11月19日	書面決議方式
二本松	11月16日	幹事会方式 (福祉センター)
郡山	12月3日	役員会方式 (労働福祉会館)
須賀川	11月23日	書面決議方式
白河	11月10日	幹事会方式
石川	12月16日	書面決議方式
三春	11月18日	幹事会方式 (八文字屋)
会津	11月20日	書面決議方式
いわき	11月30日	書面決議方式
南相馬	12月17日	書面決議方式
相馬	11月30日	書面決議方式

三、役員選出  
今総会は役員改選期にあたり、次の方々在今后二年間業務推進に当たることとなりました。



新事務局長  
菅野 一喜

副会長 伏見 吉弘 (福島)  
 会長 廣田 幸夫 (福島)  
 〃 山ノ井 茂喜 (郡山)  
 〃 鈴木 尚栄 (会津)  
 〃 鈴木 俊寿 (いわき)  
 事務局次長 菅野 一喜 (福島)  
 事務局次長 渡部 澄子 (福島)  
 〃 (欠員) (福島)  
 会計監査 斎藤 幹雄 (福島)  
 〃 高橋 和子 (福島)  
 なお、事務局次長欠員については、選出次第地区代表者会議に諮る。  
 以上の報告、提案について、質疑討論を行った後、全会一致で確認されました。



### 無料法律相談

困り事は深刻になる前に、先ず連絡を  
 予約は **024-534-1144**  
 遠方の方は電話でも相談可能です

NTT 労働組合  
 退職者の会福島県  
 支部協議会の皆  
 様、新年あけまし  
 ておめでとうございます。



岡本あき子

立憲民主党 衆議院議員

皆様には、日頃  
 から大きなご支援  
 を賜り、私の政治  
 活動を支えていただき、心から感謝申し上げます。

先の総選挙では、比例復活で当選させていただき、再び議席を得ることができました。

次こそ小選挙区での勝利を得るため、選挙後早々から地域回りに力を注いでおります。引き続きのご支援を賜りますようお願い申し上げます。

選挙では、「いのち 子ども 暮らしを守る」をスローガンに、誰も置き去りにしない社会をつくり、あなたのための政治を行なうと訴えさせていただきました。この皆様とのお約束を果たすべく、国政の場で全力で取り組んで参ります。

具体的には、今後も予想されるコロナ禍へ、医療提供体制の整備、事業者や生活者への支援などの対策をしっかり行なうこと、また私がとりまとめた「子ども総合基本法」を成立させること、に先ずは取り組みます。

福島県支部協のますますのご発展と、皆様の今年一年のご多幸を祈念申し上げます。

NTT 労組退職者の会福島県支部協議会の皆様、いつも温かいご支援を賜り、誠にありがとうございます。



吉川 沙織

立憲民主党 参議院議員 (NTT労働組織内)

2022年、新たな年を迎えました。昨年、一昨年と先輩の皆様にお会いすることは叶いませんでしたが、皆様に対する感謝の気持ちを常に携えながら、日々国会活動に邁進しています。

昨年の衆院選は、多くのご支援にもかかわらず、一強政治の打破、与野党伯仲の議会構成には届きませんでした。新たな体制で臨む通常国会では、しっかり国民の皆様の意見を反映させる、生活者、社会的に弱い立場の人々に寄りそった政治の実現に向けて活動を進めてまいります。

新型コロナウイルス感染症対策はもちろん、経済対策、社会保障制度、税制、外交など国政で取り組むべき課題は数多くあります。また初当選から所属し続けている総務委員会では情報通信政策をはじめ、コロナ禍での地方自治のあり方など引き続き議論していきたいと思っております。

私、吉川さおりは、昨年に引き続き議院運営委員会筆頭理事を務めています。必要なときに国会を開会し、充実した議論ができる環境と緊張感とバランスを取り戻すために努力してまいります。今夏の第26回参院選、3期目に挑戦する「石橋みちひろ」議員とともに、参議院で努力を続けてまいります。

これからも先輩の皆様にご指導賜りながら、初心と感謝の気持ち、政治を志した原点を忘れず精一杯活動を進めます。

寒い日が続きますが、先輩の皆様、どうかお身体にはくれぐれもお気を付けください。次にお会いできる日を心から楽しみにしております。

# 会員紹介

今回から会員の趣味や特技、ボランティア活動、県内名勝地の紹介等掲載しますので、「愛読」ください。

で、「愛読」



## ツーリング

福島地区協議会 鈴木 繁夫

バイクに乗っていると寒い、暑い、尻が痛い、それでも自分の体をさらして自分の力では出せないスピードで走る爽快感のような気持ち良さがあります。そして温泉、特に野湯が最高です。羅臼の薫別、相泊、クマの温泉、大雪山の旭岳温泉。屈斜路湖で流れ星に感嘆していたが酔っ払っていたので全然覚えていなかった。(一緒にキャンプしていた友人が俺がそう言っていたと) 和琴温泉、裸で砂の湯舟を掘っていたら観光バスが眺



紋別市にある「蟹のオブジェ」前にて



野湯にどっぷり浸かって気分最高!

めて走っていった砂湯。朝出発しようとしてバイクと膝をすりむき硫黄泉で治したカマイワツ

カマイワツの滝(しみる)、然別峡キャンプ場の鹿の湯とその温泉群。北海道ではないけど自分最長二週間キャンプツーリングで行った奥奥八九郎温泉、野湯だけでもいろいろ面白い出があります。景色では奥尻島のキャンプ場、高台にあり誰もいない、風の音だけで沈む真つ赤な夕日、二日目に一人来て独り占めではなくなったが二日間きれいな夕日だった。湧別のキャンプ場で朝うるさくて目が覚め、丘の上に登ったら一面の雲海が広がっていた。そこは高くても標高五十m位なのに。ツーリングといういろいろな情景が断片的に浮かんでくる。今も年三、四回は近場に行っているが、コロナが収まり、体力があればまた長期ツーリングをしたいものです。

## 私の趣味はさしすせそ

相馬地区協議会 鶴岡 享治

いきなり訳のわからない表題で始まりましたが、ご説明します。

「さ」は一局指すのさ、「し」は終局のし、「す」は駒を進め



6段の認定を受けた鶴岡さん

るのす、「せ」は戦局を見つめるのせ、「そ」は相似形のそで、全て将棋に関係する言葉でいかにもへそ曲がりの私らしい始まりとなりました。

私が将棋の駒に触れたのは小学一年生の時で、その時は皆さんがよくやった周り将棋でした。その後山崩しを経験し五年生の時、駒を揃えた本将棋を始めました。字数が限られていまして、ここから五年先に進めます。

舞台は高校一年生、授業と授業の合間の十分間、机に将棋盤を置き一、二局指したものでした。初段を目指したのは高校三年の受験時、将棋の月刊誌を購入し、往復はがきを毎月投函し続けました。規定の点数に達し、見事初段を獲得することができました。ここで終局かと思いきや、仙台の大学に入学し将棋部に在籍、段位が上がらないままどつぷりと将棋につかっただけでした。

あれから五十年の月日が流れ、現在はネットで全国の猛者の方々と対戦し、一喜一憂したり、新聞の十週連続得点取得で、日本将棋連盟から六段の認定をさせていただいたり日々将棋に没頭しています。約六十年間将棋に接し感じた

## 身近な鉱物の世界

石川地区協議会 増子 勝昭

ことは、将棋とは高校の時に習った数学の因数分解のようなものだということ。それぞれの駒の働きの組み合わせを五、六とおり考えたり、また別の視点から組み立ててみたりと、いろいろなことが必要になってくるからです。いま話題の「藤井聡太四冠」は何千通りの組み合わせを瞬時に描くことが出来るのではないのでしょうか。

それはそうとして、私は明るく楽しく元気に過ごすためには、何をどう組み合わせたら良いのか、NHKの日曜将棋を見ながら模索しているところです。



【写真1】



【写真2】



回県内各地にハンマーと鑿(たがね)、防塵眼鏡、採取物を入れるビニール袋を持ち出かける。最近の鉱物採取体験場所

### ① 鮫川村 永井鉱山跡

(二〇二二年十一月)

昭和三十年頃までタンクステン鉱山であった。鋼を製造するに必要な金属。なお、石灰岩に花崗岩が貫入したときに生じた熱で各種鉱物が生成された。

また、ザクロ石の産地として知られておりズリ(麿石)の中から採取した。

【写真1】ザクロ石 茶色で数ミリの結晶。

### ② 埴町西河内(二〇二二年十月)

この鉱山は現在、F鉱業社が貝化石を採掘、粉碎して製品化し、カルシウムなどが多いことから飼料・肥料として各地に出荷されています。

ここでの採取体験は、二枚貝の一種のフネガイ(赤貝)。数ミリの黒いツメの様なものは、カニのツメと思われる。ちなみに一千万年前の地層から採取した。

【写真2】二枚貝とカニのツメ これからもロマンを感じながら石に鑿を当てる日が続きそうです。

## 一年間の取組みを振り返って

南相馬地区協議会

新型コロナウイルス感染症の拡大は、私達の生活や活動に大きな影響をもたらしています。地域の活動が中止となる中、



楽しい交流を続ける南相馬地区協の皆さん

退職者の会として年間活動計画に基づき屋外での活動を中心に取り組んできました。五月には、南相馬・相馬地区退職者・電電原町OBグラウンド・ゴルフクラブと合同のグラウンド・ゴルフ交流会を実施しました。また、九月には、南相馬市パークゴルフ場において南相馬退職者の会で初めてとなるパークゴルフ交流会を実施しました。多くの会員や家族の参加を頂き、秋晴れの下、楽しく親睦と交流を深めました。ゲーム終了後は、久々にお会いする方もお話しが弾むなど楽しい一日となりました。男女別競技の結果、男子の部は、半谷敬一さん、女子の部は、渡部順子さんが優勝しました。



### 三春町の「健康づくり」に 参画して

三春地区協議会 西川 富子

平成十六年三春町が、地域の健康づくりの一環として「駅前健康サロン」を開設することとなり、その運営を委託されました。(週五日・午前十時～午後四時)

「健康サロン」とは地域の皆さんが気楽に立ち寄り、お茶を飲みながらおしゃべりをし、血圧測定等健康チェックを行い、マシンでの運動等健康づくりに関心を持ってもらうために開設しました。県内初の試みとい



是非お立ち寄りと呼び掛ける西川さん(左端)



う事で白紙の状態からのスタートでしたが、現在は皆さんの「憩いの場」として定着し、ピーク時は年間延べ四千名の方が利用されています。当初は利用者の八割位が女性でしたが、現在は「元氣だから来れるのか、来るから元氣なのか」と高齢の男性の利用が多く、話題も豊富で教えてもらう事が多々あり、皆さんの笑顔とパワーが私の元気の源となっています。

平成二十八年退職の青柳秀子さんも加わり、十名の素晴らしい仲間が週一回三時間の当番ですが、十七年間続けられたことに感謝です。

現在はコロナ禍で時間も制限され、お茶も出せず少し寂しいサロンですが、早くコロナが終息して賑やかになる事を期待しています。

滝桜など三春町にお出かけになる機会があれば、三春駅の隣に「駅前健康サロン」がありますので是非お立ち寄り下さい。コーヒーやお茶等用意してお待ちしております。

私の趣味 プラモデル蒐集・製作  
須賀川地区協議会 鈴木 眞正

私の趣味はプラモデルです。小学校からですのでおおよそ六十一年くらいになります。欲しい製品が出ると、退職したら思いっきり作るぞと、コツコツ買い求めてきました。

この頃やっとなれるようになり、部屋に籠って製作に没頭しています。本人は大満足です。



子ども時代に帰ったかのような鈴木さん



完成した自慢のミニカー

が、家人は呆れているのか慣れたのか何も言いません。ありがたいことです。

プラモデルはパーツを組み立てて色を塗って完成ですが、今の私は目はボンヤリ、肩はバリバリ凝り、手先はふるえてなかなか満足できる完成品とはなりません。

同じ製品でもプロが作ると何万円にもなりますが、私の作品は私以外には厄介なゴミとしかなりません。全く自己満足の世界です。もっとうまく作りたいと思うのです。

これからますます衰えてくるだろう目も肩もサプリ等に頼らず、宇津峰や那須の山々を時折

眺めて目を癒し、テレビで観た肩ほぐし運動をしつつ、明日はこれを、次はあれを作ろうと製作用意欲は日々増すばかりです。

### 陶芸の魅力

いわき地区協議会 相川 忠司

陶芸を始めたのは先輩の幕田さんに教室への誘いを受けたからでした。その後、単身赴任の四年ぐらいを除き、三十五年ぐらい続けています。六年前に自分の窯を持ちました。

今年、終活をかねて物置を片付け、十畳ほどの新たな陶芸部屋を作りました。サッシや壁・作業台も素人の日曜大工仕事でお粗末ですが、作陶はしやすくなりました。

その場所週二回、午前と午後、教室というよりも同好の士の集まりといった雰囲気、主に高校の同級生やN.T.TのOBの人たち五人ほどで楽しい時を過ごしています。

焼き物の魅力は釉薬を掛けて焼き上がってみないとわからないところですが、初めて



広々とした自作の陶芸部屋で(左側が相川さん)

作った作品でも物を入れれば結構になるものです。そして同じものを作り始めてもそれぞれ個性が出てきます。私も、食器ばかりでは面白みがないので犬や猫の置物、陶製のBOXを作ったユニットを嵌めたスピーカー。今は卓上水琴窟を物にしようと試行錯誤しています。

まあまあ出来たと思う作品は、同級生の店で展示しています。城東マルト店横のイタリアンレストラン『トラットリア・フラグランツァ』木・金・土・日の十一時半から十四時半。ランチのみの店ですが、時間があつたら是非覗いて見て下さい。

### 毎日が忙しく、 また、楽しい

会津地区協議会 三瓶 奨

平成十五年三月に六十才定年退職をけじめとして第二の人生を選びました。退職と同時に会津若松シルバー人材センターに登録し、趣味と実益を兼ね、好きな庭木の剪定や雪吊り等の仕事をしています。後、何年続けられるか分かりませんが安全第一に考え、周りに迷惑をかけるようにと気を使っています。

また、依頼主は高齢者一人暮らし宅が多いので、いろんなお話や相談を受ける事があり、聞くことも一仕事です。

平成十七年七月に出羽三山福神講に知人から誘われ、毎年七月に羽黒山の宿坊で御祈禱を受け十年以上続けました。山は好きだったので、退職当時は会津の百名山を数か所登頂し、その



ほらっ! でっかいべ!



頂上の気分は最高だー!

後、登山仲間誘われて県外の山へ、月山・早池峰山・鳥海山・神室山・栗駒山、谷川岳・御嶽山・茶臼岳等に登りました。平成二十五年十月に七十才で飯豊連峰の縦走に成功したのは、忘れられない私の貴重な経験で大変感激しました。

毎年情報労連のゴルフコンペには必ず参加しています。この前のコンペはハンデに恵まれて十五位に入りました。多くの皆さんから声を掛けられ、懐かしく楽しい一日を過ごす事が出来ました。

趣味が多いですが、最後は「釣り」です。日本海は佐渡・粟島沖へ片道二時間以上乗船し、鯛・鱈・鱚・あじ・いか釣り、太平洋は塩釜へカレイ・ヒラメ、昨年からタコ吊りに挑戦しています。釣り仲間との毎年の一泊忘年会は、一年の釣果を自慢し合う場で何よりの楽しみです。退職後の方が忙しく過ぎていますが、これも健康であること、家族、友達のお陰だと感謝しています。